

平成27年度 自己評価書

学校名	和歌山市立楠見小学校
校長氏名	岡本 晶彦
作成日	平成28年 3月2日

1 教育目標

正しい人権意識や、豊かな心をもち、自ら考え実践するたくましい子どもを育てる。

2 本年度の取組についての評価

	家庭・地域との連携を深める	人に優しい子どもを育てる	基礎学力の定着を図る
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本校の教育活動や児童の活動の様子をタイムリーに学校便り等で発信する。また、家庭や地域との連携の場を生かし、協力・協働の立場で児童の健全育成を目指す。 ○ 家庭や地域の願いを知る機会を大切に、学校関係者評価を学校教育活動の見直しや改善に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統として受け継がれている「下級生に優しい子、困っている子に優しい子の育成」を目指し、人権教育や生徒指導に取り組む。 ○ 児童の規範意識を高めるとともに、いじめや不登校、問題行動等の解決に向けて組織的、継続的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年度子どもの基礎学力向上への取り組み事業を推進する。 ○ 1年生を除く全学年の児童を対象に学力調査を実施し、児童ひとりひとりの実態を把握する。 ○ 学習プリント等、児童ひとりひとりに応じた手だてをチームで取り組む。

取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校だより」「保健室だより」「給食だより」等を家庭や地域に配付し、連携の基となる情報発信を心がけた。 ○ 児童の登下校を見守る子育て支援ネットワーク楠見の方々や校区内巡視を協働することができた。また、給食を食べにきてもらったり、各学年お礼の手紙を出したりして、感謝の気持ちを表した。 ○ 婦人会や老人会の方をゲストに迎え、地の歴史や文化財、ふるさと楠見を学ぶ予定であったが取り組みが不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎朝の集団登校、1年生と6年生による異学年遠足等、異年齢での活動の良さを生かした取組を継続して行っている。 ○ 「楠見の子」「登校しにくい子」については、全職員で情報を共有し、生徒指導や不登校児童への指導に役立てた。 ○ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの来校する機会を生かしてケース会議等を開催し、問題行動等の解決に向けて組織的に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の学力実態を把握するための調査に基づき、研究授業の観点を設定し、その後の取組の成果と課題について全体で協議する場を持った。 ○ 毎朝の「学びっこタイム」においては、各学年の実態に合わせ、みんなの学習クラブやeライブラリーの学習プリント、漢字の博士検定試験のプリントを活用し、学習の基礎の定着を図った。 ○ 県のきのくに学力定着フォローアップ事業で、退職校長のアドバイスをいただきながら、研究授業を実施し、授業改善に向けて取り組んだ。
----------	--	--	--

(評価結果【C】) 取組の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種たよりは定期的に配付できた。ホームページの定期的な更新には課題が残ったが、学校アンケート(保護者)の「学校は教育活動や子どもの様子を分かりやすく伝えているか」という質問に対する肯定的な回答が昨年よりさらに9ポイント増えたことから、伝える内容の充実とタイムリーな情報発信を強化したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校に不慣れな1年生と最高学年である6年生のペア活動は、6年生のリーダーとしての自覚を高め、その後のリーダー的な行動に繋げることができた。 ○ 特別に支援が必要な児童については、個別の支援シートを作成して取り組むことを全校で確認し、その取組の適切さを年度途中で評価した。 ○ 本年度は、インクルーシブ事業に取り組み支援の在り方や環境整備等について研究した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国及び県の学力調査の結果、漢字や計算などは平均点をとれているものの、図や表を、言葉や式と結びつけて答える問題は正答率が低い。とりわけ、文章、式、図やグラフ等からそれらが表していることを読み取る力が低いことが本校の課題である。本年度の各学年の研究授業は、それらの課題に着目した授業を実施したが、今後も、日常的に授業の中に、資料を比較する活動や資料を見て自分の考えを書く活動を取り入れることが必要である。
--------------------	---	--	---

改善方法【A】 次年度に向けての	<ul style="list-style-type: none"> ○ 11月に開催された「楠見文化のまつり」では、地域の宝である大谷古墳のパネルの展示や地域に伝わる獅子舞の披露があり、地域を学ぶ機会があった。このような児童と地域の方々との交流の機会を継続して設けていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の規範意識、リーダー性が低下しているとの課題が各種の調査結果から見られる。児童にはより落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送らせたい。また、児童の自主的な活動を支援し、活動への意欲を高めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中に、比較する活動や自分の考えを書く活動を適切に位置づけるためには、教材の研究や資料等の準備が欠かせない。それらの時間を着実に確保できるよう、校務の整理等に努めたい。
------------------	--	---	--

3 その他の課題

すべての子ども達が、落ち着いて学習や様々な活動ができるように職員一丸となって取り組む。